

令和5年度 人間発達文化学類 私費外国人留学生選抜問題

コース名	心理学・幼児教育コース	科目名	小論文
------	-------------	-----	-----

(注意)

1. 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は横書きとすること。
3. 句読点、引用符、括弧などはそれぞれ1字と数え、1マスを用いること。
4. 算用数字とアルファベットについては、それぞれ1マスに2字とすること。
ただしこれらを単独で用いる場合は、1マスに1字とすること。

【問題】

以下に掲げる資料は、内田伸子『子育てに「もう遅い」はありません』（富山房インターナショナル、2014年）の一部です。

これを読んで、つぎの2つの間に答えなさい。

問1 筆者の主張を400字以内で要約しなさい。

問2 著者の主張に対する疑問点を挙げなさい。その疑問に関連付けつつ、筆者の主張に対するあなたの考えを800字以内で述べなさい

この部分に記載されている文章については著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承ください。

令和5年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 私費外国人留学生選抜

【心理学・幼児教育コース】

日本語で書かれた資料を与え、日本語で論述させることにより、受験者の理解力・思考力・表現力、および人間発達文化学類のアドミッション・ポリシー^{*}をふまえ、心理学・幼児教育的視点も備えているかを総合的に判断する。

具体的には、資料（内田伸子，2014，『子育てに「もう遅い」はありません』）を与え、2つの問いを与える。各設問の出題方針と意図は以下の通りである。

問1 資料の論点整理的な要約を課すことにより、日本語の基礎的な読解力と文章構成力をみる。

問2 資料に示された論点をふまえつつ、自らの経験や心理学・幼児教育的観点も入れた見解を論述させることによって、論理的な思考力と表現力をみる。

※人間発達文化学類アドミッションポリシー

生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

令和5年度入学試験 面接「概要とねらい」 (入試情報公開用)

人間発達文化学類 私費外国人留学生選抜

【心理学・幼児教育コース】

人間発達文化学類のアドミッション・ポリシーをふまえ、以下の観点により面接を実施する。

- (1) 志願の意思および心理学・幼児教育への関心
- (2) 学習意欲
- (3) 心理学・幼児教育コースへの適合性
- (4) その他、必要に応じて適宜質問をすることにより、心理学・幼児教育への関心、意欲、コースへの適合性をみるとともに、日本語でのやりとりでの理解力、思考力、表現力を判断する。

令和5年度入学試験 面接「概要とねらい」 (入試情報公開用)

人間発達文化学類 私費外国人留学生選抜

【心理学・幼児教育コース】

人間発達文化学類のアドミッション・ポリシーをふまえ、以下の観点により面接を実施する。

- (1) 志願の意思および心理学・幼児教育への関心
- (2) 学習意欲
- (3) 心理学・幼児教育コースへの適合性
- (4) その他、必要に応じて適宜質問をすることにより、心理学・幼児教育への関心、意欲、コースへの適合性をみるとともに、日本語でのやりとりでの理解力、思考力、表現力を判断する。